

# 新時代の可能性に向けて



平泉町長  
高橋 一男

新年あけましておめでとございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、金融危機から端を発した景気低迷のうねりの中、日本経済は緩やかなデフレ状態に突入し、物価の下落に併せて雇用不安が増した厳しい1年でありました。また、新型インフルエンザのまん延によって全世界が危機感を募らせた年でもありました。このような状況の下、政府においては、さまざまな景気対策が実施されたところでありますが、景気回復への道のりは険しく、新たに発足した鳩山政権の今後に大きな期待を寄せるところであります。

本町にあっては、平泉の文化遺産」の世界文化遺産登録において、平成20年7月にカナダで開催された第32回世界遺産委員会で、登録延期という残念な決議となりましたが、文化庁をはじめ国内外の専門家の皆さまか

らのご助言と関係各位のご協力を頂き、確実な登録を目指してまいりました。特に今年は登録に大きな影響力を持つ「イコモス」による現地調査が見込まれており、世界遺産にふさわしい環境、空間、文化を兼ね備え、住む人にも町を訪れる人にも良さが感じられる「世界遺産のまち・平泉」を目指し環境整備に取り組んでまいります。

老朽化が進んでいる平泉中学校の校舎については、改築に向けた設計業務を終了したところであり、平成22年から2カ年をかけて改築を行ない、教育施設としての機能が十分発揮できるような一体的な整備を図ってまいります。また、農産物加工品の開発・販売を目的とした農産加工直売施設を町営毛越寺駐車場内に建設しておりますが、食による平泉の魅力向上と地域農業の振興に取り組んでまいります。そのほか、子育て支援、雇用対

策、観光振興の充実などにも力を注いでまいります。

今年は、町総合計画の最終年を迎えます。この10年の検証と併せ、新たな「町総合計画」を策定し、本町の新時代に向けた可能性を模索していきたいと考えているところです。また、社会経済情勢が一層厳しさを増していくことが懸念されることから、今後においても行財政改革の推進と併せ、財政の健全化に努めながら施策を推進してまいります。

本年も、「小さくともキラリと光るまちづくり」の実現に向け、職員一丸となって取り組みを進めてまいりますので、町民皆さまのなお一層のご協力とご支援を頂きますよう、お願いを申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のあいさついたします。

## ふるさと平泉会から



ふるさと平泉会  
会長 西村 専次  
東京都葛飾区在住・  
瀬原出身

明けましておめでとございます。ふるさと平泉の皆さまには、お元気で新しい年をお迎えになったことと思います。平泉は昨年、読売新聞社の読者投票による「平成百景」に県内で唯一認定され、その景観が輝きを増していることは、在京の私たちにとってもうれしい限りです。

本年に当たり、本年がふるさと皆さまにとって良き年となりますよう、また、平泉町が一層発展しますようお祈り申し上げます。

## 教育長 年頭のあいさつ

# 読書で夢を育てよう



教育長  
南館 廣太郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

11月1日より教育長を拝命いたし、早いもので2カ月が過ぎ去りました。

岩手の生んだ、有名な詩人石川啄木は「何となく今年はいい事あることし元旦の朝晴れて風なし」と、新年を迎えて明るい夢を胸にした心境を歌っており、啄木ならずとも、本町における学校教育はもちろんのこと、平泉町勢にとりましても明るい希望の抱ける年になってほしいと願っております。

本年度で3年目を迎える全国学力調査では、子どもたちに生活習慣や学習意欲などについても質問し、テストの正答率との関係も分析されております。町内の児童生徒の場合、テレビや

ビデオを見ている時間が、全国や岩手県に比較してかなり多いという結果を示しております。同時に児童生徒の「学習状況調査」も実施され、子どもたちの学力は学校だけでなく、家庭、

地域の生活環境が大きな影響を与えているという結果も出ております。このことは、学力調査の結果以上に重視せねばならないと考えます。

今やインターネットでさまざまな情報が得られる時代であり、ややもすると読書の意義が薄れがちです。しかし言葉の使い方を知り、漢字や慣用語を覚え、論旨を読み取り、展開の仕方を読み、文化や歴史を学ぶ、思考力を伸ばし、想像力を磨くためには、読書ほど手軽で効果的な方法はないのではないかと考えます。急速に変化していくであろう今後の社会では、今以上に国語力が必要となりましょう。

を認識し、自分から進んで本手にする子どもの育成を図っていただきたいものです。子どもたちが読書を通して、文中の主人公や登場人物に同化したり、地球上の出来事に共鳴したり反発したり、自然や宇宙の神秘に心をときめかせたりするその一瞬一瞬に、自分の世界を広げていけるならば、きっと自分の心の視野も広がり、大きな夢を抱けることにつながることを思います。「夢をはぐくむ読書活動」を生かす力をはぐくむ読書習慣」を目指した、町子ども読書活動推進計画も年度内に作成したいと考えております。

町民待望の中学校改築もいよいよ5月ごろには着工の運びとなっており、幼稚園から中学校までの教育環境も着々と整ってきております。ぜひ夢を持って、その夢に向かって熱中し、感動し、喜び励む児童生徒の育成を目指していきたいものと考えているところです。

どうぞ町民の皆さまのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。皆さまにとって幸多き年でありますよう、ご祈念いたしております。



昨年6月に開かれたふるさと平泉会総会